

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 第 8 回 GIS フォーラム レポート

2023/ 8/ 23

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局) 弘中淳一

- (1) 日時：2023/ 8/ 7(月) 10:00～17:00 (企業展示 12:00～17:00)
- (2) 場所：山口県セミナーパーク講堂 (〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062)
- (3) 主催：一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- (4) 共催：NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会
- (5) 後援：文部科学省、一般社団法人地理情報システム学会 (GIS 学会)、
国立研究開発法人防災科学研究所 (防災科研)、日本防災士会山口県支部、
山口県、山口県教育委員会、山口市、宇部市、宇部市教育委員会、山口大学
- (6) 協力：NPO 法人防災ネットワークうべ、山陽小野田市防災士協会、
大道地区防災士協議会、あおき GIS・オープンデータ研究所
- (7) 内容：

【来場者数】 スタッフ込み、講演者除く

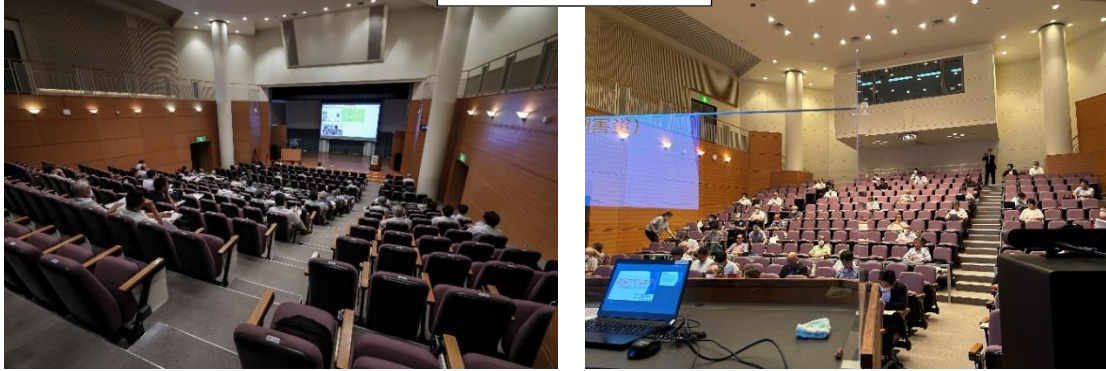
- ・ 申込者&来場者数 (合計)：138 名
(内訳) 教員・生徒 26、防災士 27、コンサル 33、自治体 16、大学 12、他民間 24
- ・ うち参加者数 (合計)：111 名
(内訳) 来場者数 85 名、Web 参加 26 名

【会 場】

<外観>



<講演会場>



【司 会】日本防災士会 女性部長（気象予報士）坂本京子



(1) 講演会：10:00-17:00

【開会挨拶】 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長
(国立大学法人山口大学特命教授) 三浦房紀



【講演 1】 (以下、リンクはご講演資料)

[持続可能な社会の創り手としての市民育成を目指す GIS 教育の授業づくり
～愛媛県公立小中学校の実践を通して～](#)

愛媛大学教育学部 准教授 井上昌善



井上先生は、2018年3月まで中高の教員であり、以降、愛媛大学に勤務され、議論や外部連携に基づく社会科・主権者教育の授業開発研究を専門とされています。令和4年10月に開催された第71回全国社会科教育学会研究大会総会においては、2022年度全国社会科教育学会の「研究奨励賞」を受賞されました。

【講演 2】 宇部市小中学校における GIS を活用した防災教育について

宇部市役所 弘中秀治



弘中さんは、長年、市職員として高潮、竜巻、洪水、土砂災害、不発弾処理など多くの災害対策を経験される一方、官民両方がわかる防災専門家・災害ボランティアとして、各地の被災地支援や防災啓発活動等をおこなわれています。本講演は、昨年度、宇部市内小中学校にデジタルハザードマップを活用した防災授業のご経験に基づき、講演されました。

【討論】 来場者による QA コーナー ～講演者と語り合おう～



【講演 3】 地域力を高める（災害時には人が人を守る）

兵庫県立尼崎小田高校 主幹教諭 難波 滋

あまおだ地域応援隊 三木彩加、水野桜花

（高校生が体験した）防災教育における GIS の活用事例

国立研究開発法人防災科学研究所 折橋祐希



難波 滋



折橋祐希

難波先生は、尼崎小田高校の主幹教諭であり、[兵庫県の震災学校支援チーム「EARTH 員」](#)、「[あまおだ地域応援隊](#)」隊長としても活動されています。発表は「[あまおだ地域応援隊](#)」高校 3 年生の三木彩加さん、水野桜花さんがされました。折橋さんは、現在は防災科研に勤務されていますが、数年前まで兵庫県立大学に所属され、同校の指導にあたられました。

【講演 4】 [地理総合における GIS 活用について](#)

静岡県立富士東高校 教諭 伊藤智章



伊藤先生は、立命館大学大学院にて地理学を専攻され、卒業後は静岡県高校教諭として勤務される傍ら、「ほぼ無料・50分完結・教科書準拠のGIS」を旗印に、『[いとちりの防災教育にGIS](#)』など、数々のGIS教材を開発・発表なさっておられます。その成果により、GIS学会表彰、国土交通大臣賞など、数々の表彰を受賞されています。

【基調講演】 [GISを活用した地理教育と地域人材育成](#)

NPO 法人全国G空間情報技術研究会 理事長 碓井照子



碓井先生は、国内GIS界の第一人者であり、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、GIS学会会長等の経歴をお持ちです。日本学術会議連携会員地理教育分科会委員長時代には、国に対し、高校地理必須化を提言され、2022年より「地理総合」の授業が開始されています。著書として「[地理総合ではじまる地理教育](#)」があります。

【パネルディスカッション】～ 地域防災における GIS 利活用について～

<司 会> 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長 三浦房紀

<評価者> 文部科学省 初等中等教育局教育課教科調査官 中嶋則夫

<パネリスト> (講演者) 碓井照子、井上昌善、弘中秀治、折橋祐希、伊藤智章



折橋祐希



弘中秀治



井上昌善



伊藤智章



(3) 企業展示：12:00-17:15

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 宇部興産コンサルタント(株) | 「現地調査アプリを活用した災害復旧事業に伴う DX の事例」 |
| (株)三友 | 「ドローン LIVE 配信システム COCODO の映像展示」 |
| (株)常盤商会 | 「災害対策ソリューション (IP 無線、遠隔監視他)」 |
| (株)ニュージャパンレッジ | 「クリーンコレクト (スマホでゴミ収集システム)」 |
| ESRI ジャパン(株) | 「ArcGIS 製品の最新情報のご紹介」 |



(株)三友



宇部興産コンサルタント(株)



ESRI ジャパン(株)



(株)ニュージャパンレッジ



(株)常盤商会



萩商工さんからは高校生が参加してくださりました。ありがとうございました。



【閉会挨拶】 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事
(宇部興産コンサルタント株式会社) 弘中淳一



【所感】

本フォーラムの企画においては、昨年度に実施した「山口県デジタル・オープンイノベーション事業（以下、山口県事業）」がきっかけでした。全国の有識者視察において、愛媛大学) 井上先生、小田高校) 難波先生、富士東高校) 伊藤先生のお話を伺うことができ、「ぜひこのお話を山口県でしていただきたい」という思いから招待いたしました。難波先生からは「高校生が発表する機会が欲しい」とのお話をいただき。これを山口県の教育現場に生かせないかと思慮していたところ、三浦理事長の繋がりでも、萩商工) 小田先生が探究の活動で防災に取り組まれていることを知り、同校高校生来場の上、交流の機会を作ることができました。これは大変嬉しい瞬間でした。宇部市) 弘中さんにおいては、以前から小中学校の防災授業に取り組まれていたとのことでしたが、山口県事業によりデジタルマップの活用は初めてで、GIS 適用の効用等、自主防災組織等、地域で活躍する防災士さんにも身に染みるお話となったのではないのでしょうか。碓井先生には、第1回の開催（2015年10月）で素晴らしい基調講演をいただき「もう一度教育テーマで開催するときはぜひ招待したい」と思っていたところでした。再登壇を快くお引き受けくださり、熱いお話をしていただき感謝しきりです。文科省) 中嶋先生においては、第6回（2021年2月）に基調講演いただきましたが、コロナ禍のため Web で遠隔からのご登壇であり、山口への来訪をお願いするまたとない機会となりました。高森高校の白石先生とは旧知の仲だそうで、思わぬ繋がりを嬉しく思いました。

このように昨年度の山口県事業、過去の開催等により、いろいろな有識者の方と縁あつての繋がりにより開催に至りました。この縁を山口県内で生かしたいと思い、先生方が集まりやすいと考えた夏休み期間中の開催を決定し、県内教育関係者へのプロモーションを主

とし集客に努めましたが、残念ながら会場を満員にすることはできませんでした。先生方は多忙を極めていらっしゃる様子であり、「この分野のマーケット開拓はたやすすくない」ことがよくわかりました。

子どもはそんな中でも、地域防災に GIS を活用するメリットを継続して訴えて行きたいと考えています。高校の地理教育においては、碓井先生、伊藤先生も言われるように「地理総合」の授業で、GIS の活用がより一層進むことでしょう。また学習指導要領改訂による小中高による防災授業はマストであり、生徒一人一台導入されたタブレット PC の有効活用が行えます。幸いにも、弘中さん@宇部市がお話されたように、今年度は宇部市内計 15 校の小中学校において、防災授業にデジタルマップ (GIS) を活用する計画となっています。教育現場をきっかけに、“児童生徒一人一人が「市民」となる”まさに井上先生がおっしゃる人材育成が行え、家庭内で保護者との情報共有、さらには地域防災への活動に結びつきます。このことにより、近年勃発する地球温暖化に起因する激甚災害を、地域自らで乗り切る「共助」「自助」の活動が実現できるのではないのでしょうか。その活動には、GIS を様々な側面からサポートする組織が必要であり、本法人がその役割を担います。今後の活動をどうぞ温かく見守ってください。

最後に、遠路はるばるお越しくくださった講演者・評価者の方々、多忙を極める中でもご参加くださった教育関係者の方々、自主防災組織等地域防災士の方々、自治体、民間全ての参加者の方々、また企業展示に参加してくださった法人会員企業の方々、そして最後に、三浦理事長、堀理事をはじめとするスタッフの方々、関係者すべての方に、厚くお礼を申し上げます。事故なく無事、運営を終えることができました。ありがとうございました。

以 上